

平成27年6月：第394回 大野市議会定例会

一般質問 6月15日（月） 午前

質問者	質問方式	質問概要
松田（創生おおの）	一問一答方式	<p>1 地方創生の現状について</p> <p>○ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち越前おおのの実現を目指して、現在、第五次大野市総合計画の前期基本計画「越前おおの元気プラン」は今年が最終年度となり、次年度からの後期プランも策定中と認識している。</p> <p>前期越前おおの元気プランの現状経過をどのように評価しているか所見を伺う。</p> <p>特に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終年度平成 32 年度「ふれあい交流人口」の目標 3 万 8,000 人は達成できるのか。 ・結の故郷交付金事業についてどのように評価しているか。 ・小中学校再編計画と地域再生についてどのように考えるか。 <p>2 第七次大野市行政改革大綱について</p> <p>○平成 27 年 3 月に策定された「第七次大野市行政改革大綱」は少子高齢化・人口減少の非常に厳しい時代にある中、どのような姿勢で臨めばいいのかを示した仕事のよりどころと考えることができる。</p> <p>この中で、マネジメント意識の醸成、効率的な行政運営、市民との協働・連携、人的資源の活用、そして結の故郷づくりの推進を基本方針とし、意識改革を継続し、行政の目標達成のために戦略的に臨まなければならないとし、七つの重点推進事項を掲げている。</p> <p>第七次大野市行政改革大綱を基に、これからの厳しい時代にどのような姿勢で臨まれるか所見を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結の故郷発祥祭実績報告から、どのようなことが解り、今後のイベント企画にどのように生かすか。 ・大野市文化会館の在り方と今後の方向性に関する報告書について、どのように評価するか。
（新生おおの）砂子	一問一答方式	<p>1 キャリング・ウォーター・プロジェクトについて</p> <p>○プロジェクトのコンセプト・概要・意義・効果について。</p> <p>○プロジェクトの推進に当たって、国内、国外問わずいろいろな機関等と連携できればと考えるが市の考え方は。</p> <p>○来年から広くドネーション（寄付）を募るとあるがその受け皿について。</p>

質問者	質問方式	質問概要
堀田(立志会)	一括質問・答弁方式	<p>1 地方創生交付金の活用について</p> <hr/> <p>○国の地方創生交付金の先行型事業（H26年度）の内容と、現時点での活動（或いは申請）状況は。 また、分野ごとの独自性や特徴などはどう評価しているのか。</p> <p>○市民アンケート結果を市民の声としてどう評価して総合計画や地方版総合戦略の策定に反映するのか。</p>
		<p>2 シティープロモーションについて</p> <hr/> <p>○シティープロモーションの実施に当たり、現時点で大野市の強みや魅力にはどのようなものがあると認識しているのか。</p> <p>○平成27年度当初予算要求事業の人口減少対策事業一覧では、継続・新規事業を合わせて148の事業を計上しているが、シティープロモーション活動を目的別に分類すればどのような振り分け数になるのか。</p> <p>○「結の故郷」ロゴマークの市民や事業者の活用状況は。 また、市民の一体感の醸成のため一般に広く公募できることがあれば積極的に公募するべきと思うが、ご所見は。</p> <p>○今後もシティープロモーションを担っていくための人材育成も必要なのでは。</p>
		<p>3 自転車を活用したまちづくり事業について</p> <hr/> <p>○サイクリングコースを車両とどのように区分し、周知していくのか。また、サイクリング者の安全は。</p> <p>○真名川河川敷の自転車歩行者専用道路については、防災上の観点からサイクリング者への安全対策等は。</p> <p>○それぞれの4カ所の橋（真名川大橋・富田大橋・君が代橋・八千代橋）の交差進入箇所付近にサイクリング者、観光客（釣り客）や市民の憩い、やすらぎの場としてどのような機能を持たせるのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
<p style="text-align: center;">榮 （日本共産党大野市議団）</p>	<p>一括質問・答弁方式</p>	<p>1 安全保障法案は憲法違反の戦争法案であることについて</p>
		<p>○現在の戦争法案の国会審議の状況によると安全保障関連法案として国会に提出し、その法案の中身を岸田外務大臣が理解せずに答弁を繰り返す等のあいまいで、でたらめな答弁で審議され、当大野市からの在職の自衛隊員も 100 名を超える方々のリスクも高まり、殺し殺される戦争法案の犠牲は、これからの若い人たちの犠牲によって購うことになるが市長の認識は。</p>
		<p>2 文化会館の在り方検討委員会について</p>
		<p>○現在大野市は公共施設再編計画等の行政改革を進めそれぞれの公共施設の見直しが進められているが、大野市文化会館在り方検討委員会設置要綱によると設置目的がないのはなぜか。</p> <p>○大野市文化会館の在り方と今後の方向性に関する報告書の資料 4 によると、市民向けと団体向けのそれぞれからアンケートを実施しているが例えば、「文化会館の不便を感じるところは」の回答は、「駐車場が少ない」が市民 15.4%、団体 11.3% で不便さを訴える 1 位であるが、棒グラフの位置をちぐはぐにしている意図は何か。</p> <p>○はじめに「新築による文化会館の整備」が先にありきでその結論に理由付けをしたのが大野市文化会館の在り方と今後の方向性に関する報告書でないのか。</p>
<p>3 大野市小中学校の再編計画（素案）について</p>		
<p>○大野市小中学校再編計画（素案）を見ると正直私は空恐ろしく、背筋がぞっとするのを隠し切れない。41 年の 2 段階再編計画では旧村集落全てから小中学校が消えてなくなり、大野市には小中一貫校が開成と陽明の 2 校になり、義務教育の中に競争原理が持ち込まれ、現在文科省で議論されている子どもの発達条件に沿う教育がそがれるという問題を持つ小中一貫校の先取りが計画されているのでないか。</p>		

質問者	質問方式	質問概要
梅林（創生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 持続可能な財政運営について</p> <p>○昭和 40 年代財政再建計画の確認があったと聞くが、その要因は何だったのか。また回復に向けてどのような努力をしたのか。</p> <p>○財政の健全化においては、自助努力できる職員数の適正化が求められるが、本市の職員数のビジョンは。</p> <p>○第五次大野市総合計画 基本構想 行財政改革では、各事業会計への一般会計からの繰り出しが増大することにより、財政を圧迫することが危惧され、各事業会計の健全な運営を図ることが課題とされている。前期において課題解決にどのように取り組んできたのか。</p> <p>○地方自治法第 243 条の 3 において、財政状況の公表が義務付けられており広報等で示されているが、市民にもっと分かりやすい公表ができないか。</p>
		<p>2 湧水再生対策について</p> <p>○『水への恩返し』 キャリング・ウォーター・プロジェクトの目的等を市民（大人・子ども）にどのように周知し、市民（大人・子ども）の参画をどのように展開していくのか。</p> <p>○地下水保全を更に推進していく上で、『地下水の保全、涵養及び利用に関する法律（案） 略称 地下水保全法（案）』の早期成立に向けての要望書を提出してはいかがか。</p>
		<p>3 麻耶姫湖青少年旅行村について</p>
		<p>○年間入込客数、管理運営の現況及び利用者拡大に向けてどのように取り組んでいるのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
野村（日本共産党大野市議団）	一括質問・答弁方式	<p>1 木質バイオマス発電・燃料供給、環境への影響</p> <p>○あらためて質問する。大量の燃料を持続的に供給できるのか。</p> <p>○林道・作業道の改良開設の予定、計画の内容は。</p> <p>○伐採のあと必ず植林するという計画になっているのか。</p> <p>○未利用木材の物理的資源量は一見して十分あるように見える。しかし経済性を考慮した実際に供給可能な未利用材は需要量に対して不足するのでは。</p> <p>○水源の確保については、井戸を一本掘って用水調査を行って、周辺の井戸にも影響がないだろうと、あいまいな回答であったが、実際に必要な井戸を掘って、必要量を汲み上げ続けても大丈夫か。（一般市民には水の節約を呼び掛けているので市民からの批判は避けられないのでは。納得のいく回答を。）</p> <p>○温排水を冷却して排水するためにも有効利用の計画は。</p> <p>○公害等については、国の環境基準並びに大野市の環境基準にのっとってとのことだが、その環境基準それぞれの内容は。</p>
		<p>2 地方創生人口減少</p> <p>○地方の疲弊は著しい。大野市も人口減少が止まらない。その減少についてどのように考えているか。また、人口減少対策を行ってきたと考えるが、結果ははかばかしくなかった。その原因をどのように捉えているか。</p>
山崎（新生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 消防団について</p> <p>○今後の女性消防団の育成、組織維持、強化についてどのようにお考えなのか。</p> <p>○団員の報酬、出場手当をどのようにお考えなのか。</p> <p>○組織維持にかかる年齢構成や、高齢化に伴う対応をどのようにお考えなのか。</p>
		<p>2 大野市文化会館の今後の方向性について</p> <p>○「新築による文化会館の整備」になった経緯は。</p> <p>○公共施設再編計画の現状と、これからの見通しは。</p> <p>○新築された時に伴う管理費をどのようにお考えなのか。</p> <p>○他の文化施設との併設はお考えなのか。</p>
		<p>3 「正しい日本地図」を活用した教育の推進について</p> <p>○わが国が当面する領土問題について学校で学ぶのは、中学、高校であるが、わが国の正当な主張や領土について理解を深めるには、小さい頃から日本の国土について親しみ学ぶことが大切であると考えているがいかがか。</p>
		<p>4 福井国体と青少年育成について</p> <p>○福井しあわせ元気国体強化育成交付金事業補助とは、どのようなものなのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
高田（創生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 第6次産業化における農商工の連携について</p> <p>○第6次産業化の現状はいかかなものか。 第6次産業化の運営方針は。 ○農商工連携の考え方は。</p>
		<p>2 中心市街地活性化について</p> <p>第2期中心市街地活性化基本計画での</p> <p>○結ステーションの位置づけは。 ○タウンマネージャーの成果は。 ○第1期の総括の中で 五番通り旧Fマートの再生が実施できなかったとあるが、第2期の計画ではどのように配慮されたのか。 ○中心市街地における不動産の利用現況はいかかなものか。 ○観光交流人口での七間朝市との連携は。 ○まちづくり会社の役割と今後の方向性は。</p>
廣田（立志会）	一括質問・答弁方式	<p>1 助成制度の周知および活用促進について</p> <p>○助成制度ガイドブックの構成について、ホームページのリニューアルに合せ変更されるのかお聞きする。 ○世代別で利用可能な助成制度を判り易く説明する資料はあるのか、あるのであれば、問い合わせが多い18～30歳で利用できる制度についてお聞きする。</p>
		<p>2 道の駅「仮称 結の故郷」について</p> <p>○地元特産物コーナーを設け集客を行う道の駅が多いが、道の駅「仮称 結の故郷」では取り組みを検討されているのか。検討されているのであれば冬季間の品薄をどう解消するのかお聞きする。 ○他自治体に優る防災への取り組みは、すでにブランドになりつつあると考える。防災グッズや非常食などの商品開発で特色ある道の駅にすることが可能だと考えるが所見をお聞きする。</p>
		<p>3 木質バイオマス発電所の付随施設について</p> <p>○木質バイオマス発電所の排熱を利用した温室ハウスが検討されているが、どのような利用をお考えなのかお聞きする。 ○熱交換率が高く発電効果の高い施設であると聞くが、排熱時の水温は冬期間で何度ぐらいになるのかお聞きする。</p>